

みずほCustomer Desk Report 2019/09/30号(As of 2019/09/27)

市場営業部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値	107.83
	GBP/USD	AUD/USD			
TKY 9:00AM	107.75	1.0923	117.69	1.2328	0.6753
SYD-NY High	108.18	1.0959	118.46	1.2337	0.6779
SYD-NY Low	107.65	1.0904	117.44	1.2270	0.6745
NY 5:00 PM	107.94	1.0942	118.11	1.2287	0.6767

NY DOW	26,820.25	▲ 70.87	日本2年債	-0.3200	1.00bp
NASDAQ	7,939.63	▲ 91.03	日本10年債	-0.2400	1.00bp
S&P	2,961.79	▲ 15.83	米国2年債	1.6355	▲2.30bp
日経平均	21,878.90	▲ 169.34	米国5年債	1.5644	▲1.96bp
TOPIX	1,604.25	▲ 19.02	米国10年債	1.6862	▲1.03bp
シカゴ日経先物	21,730	▲ 255	独10年債	-0.5765	0.95bp
ロンドンFT	7,426.21	75.13	英10年債	0.4955	▲2.15bp
DAX	12,380.94	92.40	豪10年債	0.9460	▲1.40bp
ハンセン指数	25,954.81	▲ 87.12	USDJPY 1M Vol	6.10	0.10%
上海総合	2,932.17	3.08	USDJPY 3M Vol	6.65	0.01%
NY金	1,506.40	▲ 8.80	USDJPY 6M Vol	6.74	▲0.03%
WTI	55.91	▲ 0.50	USDJPY 1M 25RR	-1.50	Yen Call Over
CRB指数	175.72	▲ 0.51	EURJPY 3M Vol	7.15	▲0.08%
ドルインデックス	99.11	▲ 0.02	EURJPY 6M Vol	7.30	▲0.03%

東京	東京時間のドル円は107.75レベルでオープン。前日の海外市場におけるドル買いの強まりは一服し、107円台後半にて高止まりする中、四半期末を週明けに控えた取引が交錯。仲値近辺では一時107.80付近まで上昇したが、動意に乏しい相場展開は変わらず、経済指標や目立ったニュースにも乏しく107.76レベルにて海外市場に渡った。また、ユーロドルが2年4ヶ月ぶりの安値を更新して一時1.0904まで下値を拡大した。(東京15:30)
ロンドン	ロンドン市場ドル円は若干のリスクオンから買われた。107.76レベルでオープン。サウジアラビアがイエメンで部分停戦に動いたとの一部報道を受け中東情勢の緊張が和らぎ若干のリスクオフとなり円売りとなった。一週間ぶりの高値108.18を付けて108.10レベルでニューヨークに渡った。ポンドドルは売られた。1.2330レベルでオープン。効派と言われているサンダース英中銀の利下げを示唆した発言に朝方1.2270まで下落し1.2308レベルでニューヨークへ渡った。(ロンドン・トルフリ-00531 444 179 西海)
ニューヨーク	期末のドル買い需要が意識されドル円がじり高で推移する中、サウジアラビアがイエメンとの部分停戦に合意したと伝わりクロス円の買いが強まり、海外市場で108.18まで戻したドル円は、108.10レベルでNYオープン。朝方は米8月個人所得が予想を一致する一方、支出が予想を下回り、前回分も下方修正され、また本日のNY連銀の翌日物レボで最大1000億ドルの供給に対し227億ドル供給されたことが明らかになると、ドル売りが優勢となり108.03まで反落する。続いて発表の9月ミシガン大学消費者信頼感指数が予想を上回ったものの、ドル円の反応は限定的となる。その後はロンドンフィックスに掛けて、再びドル買いが優勢となり、108.18まで戻す。しかし、正午前になり、「トランプ政権が米投資家のポートフォリオ投資による中国への資金流入を制限する方法について協議している」とのヘッドラインにドル売りが一気に持ち込まれ、107.79まで下落する。期末のドル買い意欲もあり、108.11まですぐに戻すが、株式市場が軟化する動きを受けドル円は107.80まで反落し、107.94レベルでクロスした。一方、ユーロドルは海外市場で昨日の安値1.0909を抜け、1.0904まで下落したが、サウジアラビアのニュースを受けユーロ円の買いが強まり、ユーロドルも連れて1.0940まで戻し、1.0936レベルでオープン。朝方はドル売りが優勢となったことから、一旦1.0949まで戻すが、期末絡みのドル買いが持ち込まれているとの話に1.0927まで反落する。その後は来週ユダヤ教の休日のためNYの公立学校が月火と休日になることから市場参加者の減少が意識される中、ショートカバーが強まり、前述のヘッドラインを受けたドル売りも加わり1.0959まで戻す。午後は、1.0940付近での推移が続き、1.0942レベルでクロスした。(NY井上)

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

担当:小笠原

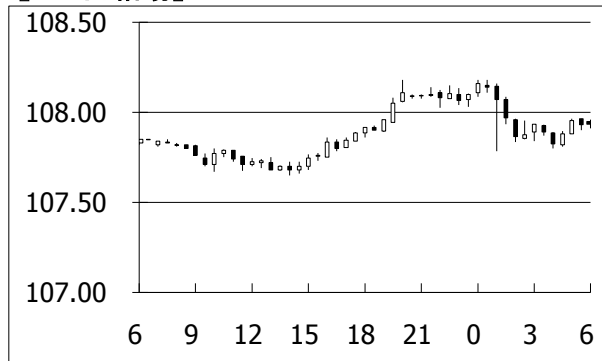
【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
9月27日	21:30	米 個人所得/個人支出	8月 0.4%/0.1%	0.4%/0.3%
	21:30	米 PCEコアデフレーター(前月比/前年比)	8月 0.1%/1.8%	0.2%/1.8%
	21:30	米 耐久財受注(前月比)	8月 0.2%	-1.1%
	21:30	米 耐久財受注(除く輸送用機器・前月比)	8月 0.5%	0.2%
	23:00	米 ミシガン大学消費者マインド・確報	9月 93.2	92.1
9月28日	2:00	米 ハーকার・フィラデルフィア連銀総裁「想定より早くバランスシートの拡大再開が必要にしも」		

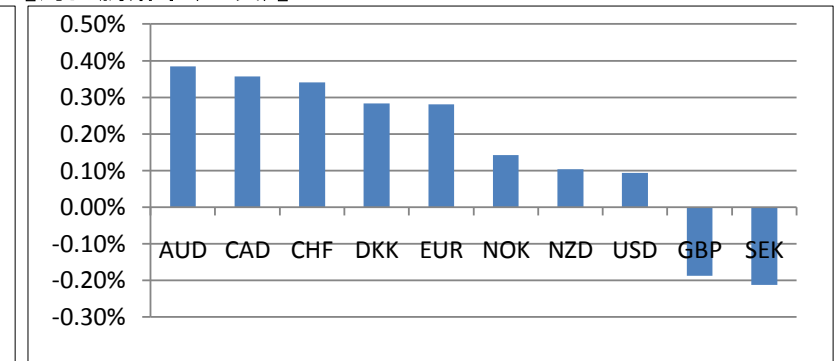
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
9月30日	8:50	日 日銀「主な意見」		
	10:00	中 製造業PMI/非製造業PMI	9月 49.6/53.9	49.5/53.8
	10:45	中 Caixin製造業PMI	9月 50.2	50.4
	21:00	独 CPI(前月比/前年比)・速報	9月 0.0%/1.3%	-0.142857143
	23:30	米 ダラス連銀製造業活動	9月 1.0	2.7

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	107.60-108.60	1.0900-1.1000	117.30-118.50

【マーケット・インプレッション】

27日のドル/円は小幅に上昇。サウジアラビアがイエメンで部分停戦に動いたとのヘッドラインを受けて地政学リスクが後退したことから、ドル/円は一時108.18円まで上昇。その後、「トランプ政権が米投資家のポートフォリオ投資による中国への資金流入を制限する方法について協議している」との報道を受けて107.70円レベルまで反落するも、四半期末を控えたドル買いフローにサポートされ、107.90円レベルまで値を戻した。本日のドル/円は底堅い推移を予想。四半期末を迎えて実需のドル買いフローが相応に見込まれ、ドル/円は底堅く推移するものと思われる。加えて本日は中9月製造業PMI、合意なきEU離脱の不透明感が高まっている英国の第2四半期GDPの発表等が予定されており、結果には注視したい。